

質問回答

2018年3月12日

「ミャンマー国ミャンマー日本人材開発センタープロジェクト（フェーズⅡ）」

（公示日：2018年2月28日／公示番号：180023）について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 第2 業務の目的・内容に関する事項	プロジェクトに関する各記述に関し、フェーズ2の5年間の活動に関すると思われる内容と、今回の契約の対象となる1年目の活動に関すると思われる内容が、混在しているように思われますところ、明瞭化いただけないでしょうか。具体的には、「(5) 活動の概要」に記載のある各成果及びそれらの各ブレイクダウンのそれぞれについて、5年間のタイムフレームのどの段階での達成を期待されているか、また、それらを踏まえて、5年間で想定されている全体の業務内容について現在想定されている内容についてご教示ください。また、それらの全体のご想定を踏まえ、P.21に記載のある限定的な業務工数の中で、1年目において、具体的にどの業務がどの程度の深度において実施されるべきかについて、貴機構のお考えをご教示ください ¹ 。	別紙1をご参照ください。

¹ お尋ねする背景としては、P.1「第2 業務の目的・内容に関する事項」のうち、「1. プロジェクトの背景」及び「2. プロジェクトの概要」については、5年間の全体の活動について説明されており、「3. 業務の目的」以降の内容が、1年目の活動について説明されているように推測されるものの、「5. 実施方針及び留意事項」については、一部記述を除いては5年間全体の活動に関するものであるように思われるのと、「6. 業務の内容」については、1年目の活動に関する説明が中心であると理解されるものの、「2. プロジェクトの概要(5)活動の概要」で説明のある5年間での成果に対応する、活動全体についての説明が必ずしも明瞭ではないと思われるため、1年目で実施すべき活動の範囲や深度の推測が容易ではないためです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
2	業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項 p.2 (5) 活動の概要 p.6 (2) 成果1 関連業務 p.21 (2) 業務従事者の構成 (案)	3つの成果については5年間で実施する内容ではあるものの、このうち成果1については、これに関連する業務をより優先的且つ集中的に1年目において実施し、多くの成果を出すことが求められているため、相当数の工数をこの成果1 関連業務に投入する必要があると理解します。その一方で、業務従事者の構成(案)においては、この成果に関係する業務を直接担当する業務従事者は「①総括／経営戦略・組織体制強化」1名のみとされており、業務内容・業務量と、団員構成との間で大きな不釣り合いがあるように考えます。この点について、記載のある業務内容や成果1への優先度に基づき、柔軟に団員構成や工数割り当てを見直すべきか、あるいは、記載のある団員構成・業務量で対応できる最低限の範囲で成果1に係る業務を実施すればよいか、貴機構のお考えをご教示ください。	成果1部分に関し、必要に応じて、柔軟に業務分担、団員構成や工数割り当てをご検討ください。一方、成果2の② ビジネスコース事業及びコンサルティング事業の運営強化についても、1年目からビジネスコース等の実施を想定している為、工数の配分については、極端な偏りがないよう、ご提案ください。
3	業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項 p.4～ 5. 実施方針及び留意事項	現地活動費用のプロジェクト予算との切り分けについて記載がございませんが、見積りに含める本業務実施契約の範囲分が決まっていれば、ご提示ください。	現地活動費用として、車両関連費、通信・運搬費、資料等作成費等を見積りに含めてください。ミャンマー語通訳備上費、国内航空賃については、MJC プロジェクト予算にて対応します。
4	業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項 p.4 5. 実施方針及び留意事項	参考資料等によれば、第1フェーズにおいては、ビジネスコースの設計・内容の検討や講師選定を業務実施契約のコンサルタントに委託する形態になっていることから、MJCのマネジメントがセンターの主幹ビジネスであるビ	ご理解のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
	<p>(1) 横断的な事項 ①コンサルタントによる積極的な提案及び柔軟な計画の見直し</p>	<p>ジネスコースの運営に主体的に関与する(コンサルタントチームの支援をうけて)体制になっていない点が、一つの大きな課題ではないかと推測されます。これを踏まえ、フェーズ2においては、コンサルタントは長期専門家と連携しつつ、より中立的な立場から、コース内容や講師選定も含め、MJC マネジメントがPDCAに基づいて「刻々と変化するニーズに対応」しながらビジネスコースを運営していく能力の強化を支援していくことが求められていると理解しておりますが、この様な理解で正しいでしょうか。</p>	
5	<p>業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項 p.4~5 5. 実施方針及び留意事項 (1) 横断的な事項 ②ベースライン調査の実施</p>	<p>「年2回開催される予定であるJCC(Joint Coordination Committee)」とありますが、現時点で想定される平成30年度のJCCのタイミングについてご教示ください。</p>	<p>2018年6月頃、2019年3月頃を想定しておりますが、現地関係者との具体的な日程調整は今後実施する予定です。</p>
6	<p>業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項 p.14 6. 業務の内容 (2) ベースライン調査実施</p>	<p>プロジェクトPDMをPDFフォーマットで頂いておりますが、Wordフォーマットで頂くことは可能でしょうか？</p>	<p>業務指示書等受領各社宛に、調達部よりWord版(英語・日本語)をメールでお送りします。</p>
7	<p>業務指示書 第2 調査の目的・内容に関する事項</p>	<p>現地コンサルティング人材の育成、ビジネスマッチング支援及びネットワーク強化を実効的なものにするためには、少なくとも本契約</p>	<p>業務指示書に記載の通り、再委託が必要と思われる業務については、明確な理由とともにご提案ください。かかる費用については、別見積と</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
	<p>p.17 (7) コンサルティング人材の育成</p> <p>p.17 (8) ビジネスマッチング支援</p> <p>p.18 (9) ネットワーキング強化</p> <p>p.22 4. 現地再委託</p>	<p>で実施する市場調査等、現状把握・分析の段階においては、現地企業やマーケットについて深い知見や情報を有する現地コンサル等を活用することが不可欠ではないかと考えますが、貴機構のお考えをご教示ください。仮に、現地コンサル等の活用を推奨されるようであれば、公平性の観点から、その費用については、別見積もり等、価格競争の対象外としていただけるとご検討ください。</p>	<p>せず、本見積りに含めてください。</p>

以上

別紙
質問 1 に対する回答

各活動に関する

【成果 1】

1-1. 5カ年計画(事業、組織、財務、人事、広報)を作成する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

5カ年計画については、コンサルタントが1年目の活動で完成する事を想定。2年目以降は、MJC 及びコンサルタントが本計画のフォロー・モニタリングを行う想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

5カ年計画に関しては、1年目で完成版を作成頂くことを想定。

1-2. 年次計画・報告(事業、組織、財務、人事、広報)を作成する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

年次計画については、MJC が作成することを想定。2年目以降についても、毎年前年の結果を踏まえ、MJC が作成する想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

年次計画の側面支援として、MJC にアドバイス等頂くことを想定。

1-3. 5カ年計画に基づき、組織体制を整備の上、必要な人員を配置する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

5カ年計画を踏まえ、2年目以降に具体的な組織体制の整備や必要な人員の配置をMJCが行う想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

5カ年計画において、組織・人事戦略・計画を含めて頂くことを想定しているが、具体的な組織体制の整備や必要な人員の配置は想定しない。

1-4. MJC 職員育成計画を策定する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:** 5カ年計画にてコンサルタントが策定する組織・人事戦略・計画を踏まえて、MJC が2年目以降に職員育成計画を策定する想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

特段、活動は想定しないが、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜 MJC にアドバイス頂きたい。

1-5. MJC 職員育成計画に基づき、MJC 職員研修を実施する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

2年目以降に MJC が策定予定の職員育成計画に基づいた職員研修は、2年目以降に、JICA が別途派遣するチーフアドバイザー及び業務調整員やコンサルタントが実施する想定。一方、

日々の職員研修については、1年目から JICA が別途派遣するチーフアドバイザー及び業務調整員やコンサルタントが実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

本活動に特化した現地派遣は想定しないが、ビジネスコース講師派遣時に、適宜 OJT 形式や隙間時間を利用した座学のトレーニングを想定する。

1-6. 人事評価制度を構築する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

5カ年計画にてコンサルタントが策定する組織・人事戦略・計画を踏まえて、2年目以降に、コンサルタントが人事評価制度を構築する想定。

➤ **1年目の深度:**

特段、活動は想定しないが、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜 MJC にアドバイス頂きたい。

1-7. 各事業の収支を把握し、それを踏まえた事業運営を行う。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

MJC のマネジメントは、1年目～5年目まで、収支状況を踏まえた事業運営を行う想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

5カ年計画等に基づき、MJC のマネジメントに対してアドバイス等頂くことを想定。

1-8. MJC 全体の広報戦略を策定する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

5カ年計画にて、コンサルタントが MJC 全体の広報戦略を策定する事を想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

業務指示書のとおり、5カ年計画にて、MJC 全体の広報戦略を策定頂くことを想定。

1-9. 各事業の PDCA の仕組みを構築する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1年目は、コンサルタントが、PDCAに関するMJCスタッフ向けセミナーを数回実施する事を想定。

2年目以降、コンサルタントが PDCA の仕組み構築に関する活動に取り組む想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

MJC スタッフ向けセミナーを数回実施頂くと共に、適宜 MJC スタッフの活動に対して、PDCA の観点から助言を行って頂くことを想定。

【成果 2】

2-1. 各ビジネスコースのカリキュラムを作成する

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1年目～5年目まで、毎年度ビジネスコースカリキュラムを作成する想定。1～2年目まではコンサルタントが作成し、3年目以降はMJCが作成する事を想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

業務指示書の内容に沿って、カリキュラムを完成頂く事を想定。

2-2. 各ビジネスコースを実施する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1年目～5年目まで、MJC及びコンサルタントが継続して本活動を実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

業務指示書のとおり、1年目では、約7分野程度の講師を派遣頂くことを想定。

2-3. 適切な募集広報^{*1}を行う。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

5ヵ年計画にてコンサルタントが策定するMJC全体の広報戦略に基づき、MJCが適切な募集広報を行う想定。2年目以降は、ビジネスコースの詳細な広報・マーケティング戦略をMJCが策定することを想定しており、当該戦略に基づいた募集広報を行う想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

MJC全体の広報戦略を策定頂くことを想定しているが、ビジネスコースの詳細な広報・マーケティング戦略策定は想定しない。

2-4. 各ビジネスコースに対する受講者フィードバックを、次に実施するビジネスコースに反映する仕組みを確立する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

本活動については、2年目以降にコンサルタントが実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

特段、活動は想定しないが、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜MJCにアドバイス頂きたい。

2-5. ビジネスコースを担う現地講師を育成する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

本活動については、2年目以降にコンサルタントが活動を行う想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

本活動に特化し現地派遣は想定しないが、ビジネスコース講師派遣時に、適宜OJT形式や隙間時間を利用した座学のトレーニングを行うことを想定。

2-6. コンサルティング事業の実施方針を確立する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**1年目に、コンサルタントがコンサルティング事業の実施方針を確立することを想定。

- **コンサルタント活動の1年目の深度:**
コンサルティング事業の実施方針を確立して頂くことを想定。

2-7. コンサルタントの育成を行う。

(回答)

- **プロジェクト計画:**
1年目から、コンサルタントがコンサルティング人材の育成を行う想定。2年目以降は、前年度の活動を踏まえて、MJC 及びコンサルタントが本活動を実施することを想定。
- **コンサルタント活動の1年目の深度:**
コンサルティング人材の育成方針・プログラムを設計し、育成を行って頂くことを想定。

2-8. コンサルティング事業^{※2}を実施する。

(回答)

- **プロジェクト計画:**
コンサルティング事業の実施方針に基づき、1年目からコンサルタントがコンサルティングを実施する想定。2年目以降は、前年度の活動を踏まえて MJC 及びコンサルタントが本活動を実施することを想定。
- **コンサルタント活動の1年目の深度:**
業務指示書のとおり、コンサルティング事業を実施頂くことを想定。

【成果 3】

3-1. ビジネスネットワーキング等のイベントをミャンマー及び日本にて開催する。

(回答)

- **プロジェクト計画:**
1年目に、コンサルタントがネットワーキング強化方針を策定し、当該方針に基づき、本活動を行う想定。2年目以降についても、毎年前年の結果を踏まえ、MJC 及びコンサルタントが本活動方針を適宜修正し、活動を実施する想定。
- **コンサルタント活動の1年目の深度:**
業務指示書のとおり、1年目に、ネットワーキング強化方針を策定し、当該方針に基づき、本活動を行って頂くことを想定。

3-2. ビジネスネットワーキング等のイベントの開催結果に係る情報収集について、その仕組みを確立の上、実施する。

(回答)

- **プロジェクト計画:**
1年目から MJC 及びコンサルタントが情報収集を行うが、その仕組みの確立については2年目以降に実施する事を想定。
- **コンサルタント活動の1年目の深度:**
業務指示書のとおり、1年目から情報収集を行って頂くことを想定。情報収集の仕組みの確立については、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜 MJC 及び JICA 産業開発・公共政策部にアドバイス頂きたい。

3-3. MJC 受講生・修了生^{※3}、日本・ミャンマーの企業、ミャンマーの BDS(Business Development

Service)機関^{※4}・大学、ミャンマー及び日本の地方自治体・商工会議所・銀行等に係るデータベースについて、その構築及び管理・運用方針を策定する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

本活動については、MJC が 2 年目以降に活動を行う想定。

➤ **コンサルタント活動の 1 年目の深度:**

データベースの構築に関し、特段活動は想定しないが、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜 MJC 及び JICA 産業開発・公共政策部にアドバイス頂きたい。また、1 年目に収集した関係機関に関する情報については、マイクロソフトオフィス Word もしくは Excel 等のファイルでデータを提供いただきたい。

3-4. データベースの構築及び管理・運用方針に基づき、データベースを構築する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

本活動については、MJC が 2 年目以降に活動を行う想定。

➤ **コンサルタント活動の 1 年目の深度:**

データベースの構築に関し、特段活動は想定しないが、日々の活動の中で、気づきの点等あれば、適宜 MJC 及び JICA 産業開発・公共政策部にアドバイス頂きたい。

3-5. 日本の地方自治体、商工会議所及び銀行等との連携促進に向け、関係機関と協議する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1 年目～5 年目まで、ネットワーキング強化方針に基づき、MJC やコンサルタントが継続して本活動を実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の 1 年目の深度:**

ネットワーキング強化方針に基づき、積極的に関係機関と協議頂くことを想定。

3-6. JICA の実施する他の技術協力案件、資金協力案件、民間連携事業、中小企業海外展開支援事業及び市民参加事業との連携促進に向け、関係機関と協議する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1 年目～5 年目まで、ネットワーキング強化方針に基づき、MJC やコンサルタントが継続して本活動を実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の 1 年目の深度:**

ネットワーキング強化方針に基づき、積極的に関係機関と協議頂くことを想定。

3-7. ミャンマー国内の BDS 機関及び大学等の関係機関の機能及び役割を整理し、MJC がコンサルティングを実施する企業に対して連携して支援を行う等、それら機関との関係を強化する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1 年目～5 年目まで、ネットワーキング強化方針に基づき、MJC やコンサルタントが継続して本活動を実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

ネットワーキング強化方針に基づき、積極的に関係機関と連携強化を行って頂くことを想定。

3-8. ヤンゴン及びマンダレーの修了生団体^{※5}との連携方針を策定する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1年目にコンサルタントが策定予定のネットワーキング強化方針に、修了生団体との連携方針についても盛り込むことを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

ネットワーキング強化方針策定時に、修了生団体との連携方針についても策定頂くことを想定。

3-9. ヤンゴン及びマンダレーの修了生団体との連携方針に基づき連携活動を実施する。

(回答)

➤ **プロジェクト計画:**

1年目～5年目まで、ネットワーキング強化方針に基づき、MJC やコンサルタントが継続して本活動を実施することを想定。

➤ **コンサルタント活動の1年目の深度:**

修了生団体との連携方針に基づき、積極的に修了生団体と連携活動を行って頂くことを想定。

※1:ビジネスコースの受講者に関する募集広報

※2:経営戦略や生産管理等に関する企業向けのコンサルティング

※3:MJC ビジネスコースの受講生・修了生

※4:企業へのトレーニング、コンサルティング(助言、診断)、マーケティング支援、情報提供、法律・会計サービス、技術開発・普及、下請などのビジネスネットワークの促進といった内容の業務を実施する機関

※5:ヤンゴン及びマンダレーの MJC ビジネスコースの修了生が立ち上げた団体